

平成 27 年度全国学力・学習状況調査

設問別に見る
つまずきと指導のポイント
＜小学校版＞

平成 27 年 11 月 17 日

三重県教育委員会

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (光村図書)	関連する教科書単元 (東京書籍)
国語A	1-1	漢字を読む(友人を家に招く)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	—	新出漢字を一画一画丁寧に書いて覚えたり、既習の漢字を意図的に復習したりすることができるように計画的に指導することが大切である。漢字を習得し語彙を広げるためには、国語辞典や漢字辞典を日常的に利用して調べる習慣を付けることが重要である。そのためには、辞書の利用について学習する第3学年から意図的・計画的に指導する必要がある。			5年 漢字の広場①	5年 漢字の由来に関心を持つ 5年 熟語の構成を知ろう 6年 熟語の構成を考えよう
国語A	1-2	漢字を読む(自分の信念をつらぬく)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	2 3				5年 漢字の成り立ち 5年 漢字の広場② 5年 漢字の広場③ 5年 カンジー博士の暗号解読 5年 漢字の読み方と使い方 5年 漢字の広場④ 5年 同じ読み方の漢字 5年 漢字の広場⑤ 5年 漢字の広場⑥ 5年 これまでに習った漢字 6年 漢字の広場① 6年 漢字の形と音・意味 6年 漢字の広場② 6年 熟語の成り立ち 6年 漢字の広場③ 6年 漢字の広場④ 6年 漢字を正しく使えるように 6年 漢字の広場⑤ 6年 漢字の広場⑥ 6年 カンジー博士の山登り 6年 六年間で習う漢字	
国語A	1-3	漢字を読む(全員がすぐに承知した)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	2 3					
国語A	1-11	漢字を書く(シャワーをあびる)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	—					
国語A	1-12	漢字を書く(鳥のすを観察する)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	—					
国語A	1-13	漢字を書く(びょういんに行く)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	2 3					
国語A	2-1	文の主語として適切なものを選択する	文の中における主語を捉える	2 3 4				設問2において、「ぼくの」「妹の」を主語として選択した児童には、主語と述語との照応関係、修飾と被修飾との関係をはっきりさせるとともに、文の構成について初歩的な理解ができるように指導することが必要である。	

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (光村図書)	関連する教科書単元 (東京書籍)
国語A	2二	文の型として適切なものを選択する	文を構成する主語と述語との照応関係を捉える	2	主語は、「何は(が)」「誰は(が)」などという言葉があてはまること、述語は、動き(「どうした」)や様子(「どんなだ」)、性質(「何だ」)を表す言葉であることなどの基本的事項の指導が必要である。特に、文の途中や後半に主語があるような文における、主語と述語とを取り出す活動が重要となる。			3年 修飾語 3年 漢字の広場⑥ 4年 白いぼうし	3年 ようすをくわしく表そう 4年 文の組み立てを考えよう
				3					
				4					
				5					
				6					
7									
国語A	3	聞き方の説明として適切なものを選択する	話の内容に対する聞き方を工夫する	2	聞き手の聞き方の工夫について正しく捉えられていない児童には、相手の話の目的や意図を捉えながら内容を十分に聞き取ることができるように指導することが重要である。その際は、話のテーマ、テーマを設定した理由、話し手の立場や結論、結論に結び付く理由や事例、話の内容に対する自分の考えを意識することが大切である。		6年 聞くこと・話すこと「意見を整理しよう」	5年 きいて、きいて、きいてみよう 6年 つないで、つないで、一つのお話 6年 学級討論会をしよう 6年 今、私は、ほくは	5年 六年生における字をすいせんしよう 5年 意見と理由を聞き取ろう 5年 和の文化を受けつぐ——和菓子をさぐる 6年 出会いにありがとう 6年 意見と理由とのつながりを聞き取ろう 6年 町の幸福論——コミュニティデザインを考える
				3					
				4					
				5					
				6					
7									
国語A	4	説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する	具体的な事例を挙げて説明する文章を書く	1	問題文の文章を正確に読み、選択肢にある「複数の事柄の共通点をまとめているか」「疑問を投げかけているか」「具体的な事例を取り上げているか」「表やグラフを用いているか」などを丁寧に読み解くことが重要となる。伝えたいことを相手に分かりやすく説明するためには、伝えたいことの内容を明確にし、その内容に合った具体的な事例を挙げて書くことが効果的であることを理解できるように指導することが重要である。			3年 自分をしょうかいしよう 3年 心にのこったことを 3年 案内の手紙を書こう 3年 調べて書こう、わたしのレポート 3年 人物を考えて書こう 3年 気持ちを言葉に 3年 理由が分かるように書こう 3年 「わたしのベストブック」を作ろう 4年 心の動きを伝えよう 4年 わたしの考えたこと 4年 一つの花 4年 自分の考えをつたえるには 4年 「クラブ活動リーフレット」を作ろう 4年 わたしの研究レポート	3年 自分をしょうかいしよう 3年 心にのこったことを 3年 案内の手紙を書こう 3年 調べて書こう、わたしのレポート 3年 人物を考えて書こう 3年 気持ちを言葉に 3年 理由が分かるように書こう 3年 「わたしのベストブック」を作ろう 4年 心の動きを伝えよう 4年 わたしの考えたこと 4年 一つの花 4年 自分の考えをつたえるには 4年 「クラブ活動リーフレット」を作ろう 4年 わたしの研究レポート
				2					
				4					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (光村図書)	関連する教科書単元 (東京書籍)
国語A	5一	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択する	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える	2	2つ選択するうちの一方は正しく選択できている児童には、コラムを読む機会を増やすとともに、コラムの書き出し、引用、事実、意見などの表現の工夫に着目した指導が必要である。		6年 書くこと「資料を活用して書こう」	5年 新聞を読もう 5年 見立てる 5年 天気を予想する 5年 百年後のふるさとを守る 5年 想像力のスイッチを入れよう 6年 笑うから楽しい 6年 『鳥獣戯画』を読む 6年 自然に学ぶ暮らし	5年 動物の体と気候 5年 新聞記事を読み比べよう 5年 和の文化を受けつぐ——和菓子をさぐる 5年 テレビとの付き合い方 6年 イースター島にはなぜ森林がないのか 6年 新聞の投書を読み比べよう 6年 町の幸福論——コミュニティデザインを考える 6年 プロフェッショナルたち
				3					
国語A	5二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える	2	言葉が引用されている段落については理解できているため、問題文にある引用された言葉の「はじめの5文字」などの条件を正確に理解することが重要である。		4年 書くこと「取材をもとに記事を書こう」	5年 新聞を読もう 5年 見立てる 5年 天気を予想する 5年 百年後のふるさとを守る 5年 想像力のスイッチを入れよう 6年 笑うから楽しい 6年 『鳥獣戯画』を読む 6年 自然に学ぶ暮らし	5年 動物の体と気候 5年 新聞記事を読み比べよう 5年 和の文化を受けつぐ——和菓子をさぐる 5年 テレビとの付き合い方 6年 イースター島にはなぜ森林がないのか 6年 新聞の投書を読み比べよう 6年 町の幸福論——コミュニティデザインを考える 6年 プロフェッショナルたち
				3	「子ども読書」「世界本の日」「ゼロ弾きの」といった本文中に括弧を用いて表現されている箇所を解答している児童には、具体例を提示しながら「引用」の意味を正しく理解させる指導が必要である。				
国語A	6	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する	登場人物の相互関係を捉える	2	物語の中の様々な描写から、一人一人の登場人物の行動や性格、場面の展開に即して変化する心情を捉えることができるように指導することが大切である。また、登場人物の相互関係からそれぞれの人物像や役割を押しさえることによって、内面にある深い心情も合わせて想像するなど、全体を構造的に捉えることができるように指導することも大切である。			5年 なまえつけてよ 5年 広がる、つながる、わたしたちの読書 5年 からたちの花 5年 大造じいさんとガン 5年 詩の楽しみ方を見つけよう 5年 見るなのざしき 5年 わらぐつの中の神様 6年 カレーライス 6年 河鹿の屏風 6年 やまなし 6年 未知へ 6年 海の命	5年 世界でいちばんやかましい音 5年 注文の多い料理店 5年 大造じいさんとがんだ 6年 風切るつばさ 6年 海のいのち 6年 ヒロシマのうた
				3					
				4					
				5					
				6					
				7					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (光村図書)	関連する教科書単元 (東京書籍)
国語A	7	応募のきまりを守っていないものを選択する	作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取る	1	案内の中から必要な情報を正確に読み取ることができていない児童には、全体の構成や見出しなどに着目し、文章や資料全体の書き方の特徴を捉えた上で、必要な情報を読み取るように指導する必要がある。また、募集案内などには、応募に必要な条件を示す語句が使われているため、語句の意味を的確に捉えていくことが必要である。		5年 書くこと「資料を活用して書こう」	3年 春の楽しみ	3年 「こそあど言葉」を使い分けよう
				3年 たのきゆう				5年 手塚治虫	
				3年 夏の楽しみ				5年 動物の体と気候	
				2			3年 もうすぐ雨に	5年 新聞記事を読み比べよう	
				3			3年 秋の楽しみ	5年 和の文化を受けつぐ——和菓子をさぐる	
							3年 三年とうげ	5年 テレビとの付き合い方	
							3年 言葉を分類する	6年 サボテンの花／生きる	
							3年 冬の楽しみ	6年 ヒロシマのうた	
							4年 春の風景	6年 イースター島にはなぜ森林がないのか	
							4年 大きな力を出す	6年 新聞の投書を読み比べよう	
							4年 いろいろな意味をもつ言葉	6年 町の幸福論——コミュニティデザインを考える	
							4年 ふるやのもり	6年 プロフェッショナルたち	
							4年 一つの花		
							4年 夏の風景		
							4年 忘れもの		
							4年 秋の風景		
							4年 冬の風景		
							4年 初雪のふる日		
							5年 新聞を読もう		
							5年 生き物は円柱形		
							5年 [コラム]グラフや表を読む		
							5年 百年後のふるさとを守る		
							5年 [コラム]直接対面しない相手とのやり取りでは		
							6年 時計の時間と心の時間		
							6年 やまなし		
							6年 [コラム]絵画や写真を見るときは		
							6年 自然に学ぶ暮らし		

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (光村図書)	関連する教科書単元 (東京書籍)
国語B	1一	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする	1	新聞には複数の種類の記事が掲載されていること、一番知らせたい記事が最初に大きく取り上げられていること、記事一つ一つに見出しが付けられていることなどの特徴を理解する必要がある。「出来事の報告」「調査の報告」「紹介と案内」の三つで構成されていることを捉え、それぞれの記事がどれに該当するかを正確に判断することが求められる。			5年 次への一歩——活動報告書 5年 明日をつくるわたしたち 5年 [コラム]意見が対立したときには 5年 グラフや表を用いて書こう 5年 一まいの写真から 6年 ようこそ、私たちの町へ 6年 未来がよりよくなるために 6年 [資料]平和のとりでを築く 6年 この絵、私はこう見る	5年 伝えよう、委員会活動 5年 不思議な世界へ出かけよう 6年 ずい筆を書こう 6年 六年間をふり返って書こう 6年 物語を作ろう 6年 資料を生かして呼びかけよう
				2					
				4					
国語B	1二	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける	2	「昔遊びをすすめる言い方」「遊びの種類を複数並べている」を選択した児童には、記事がどのような内容であるか、付けられた見出しがどのような効果を狙って表現を工夫しているかについて、普段から正確に把握、理解させるような指導が大切である。	平成 26 年度7月 小5 大問1 平成 26 年度 11 月 小5 大問2 平成 26 年度2月 小5 大問1	4年 書くこと「取材をもとに記事を書こう」	5年 次への一歩——活動報告書 5年 明日をつくるわたしたち 5年 グラフや表を用いて書こう 6年 ようこそ、私たちの町へ 6年 この絵、私はこう見る 6年 忘れられない言葉	5年 伝えよう、委員会活動 5年 不思議な世界へ出かけよう 5年 五・七・五で表そう 5年 資料を生かして考えたことを書こう 6年 ずい筆を書こう 6年 六年間をふり返って書こう 6年 物語を作ろう 6年 資料を生かして呼びかけよう
				3					
国語B	1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く	2	与えられた条件を含んで、一文で書いているが、指定された文字数を満たしていない児童には、情報の過不足なく文を書く習慣を付けさせる指導が求められる。		4年 書くこと「取材をもとに記事を書こう」	5年 次への一歩——活動報告書 5年 明日をつくるわたしたち 5年 グラフや表を用いて書こう 6年 ようこそ、私たちの町へ 6年 この絵、私はこう見る 6年 忘れられない言葉	5年 伝えよう、委員会活動 5年 不思議な世界へ出かけよう 5年 五・七・五で表そう 5年 資料を生かして考えたことを書こう 6年 ずい筆を書こう 6年 六年間をふり返って書こう 6年 物語を作ろう 6年 資料を生かして呼びかけよう
				3	与えられた条件を含んで書けているが、指定されている一文で書けていない児童には、一文で書くということはどういうことかを再度確認することが求められる。				
				4	問題文の条件である〈話した内容〉、〈表現や声の調子〉の両方に触れず、一方のみから解答している児童には、新聞には複数の種類の記事が掲載されていることを理解させ、各記事の目的や意図に応じ、伝えたい内容が十分に伝わるように、取材した複数の内容を整理して書く指導が求められる。				

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (光村図書)	関連する教科書単元 (東京書籍)
国語B	2ーア	[ア]に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	目的に応じ、中心となる語や文を捉える	—	目的に応じ、文章と図とを関係付けながら読み、中心となる語や文を基にして文章の要旨を捉えたり、自分の考えをまとめたりする指導が大切である。説明的な文章においては、中心となる語が繰り返し使われることがある。中心となる語に着目したうえで、その語を含む文全体の意味を的確に理解する必要がある。	平成 26 年度 11 月 小4 大問1 平成 26 年度 2 月 小5 大問2 平成 26 年度 1 月 小6 大問2		3年 言葉で遊ぼう 3年 里山は、未来の風景 3年 すがたをかえる大豆 3年 ありの行列 4年 大きな力を出す 4年 アップとルーズで伝える 4年 ウナギのなぞを追って	3年 自然のかくし絵 3年 「ほけんだより」を読みくらべよう 3年 もうどう犬の訓練 3年 人をつつむ形—— 世界の家めぐり 4年 ヤドカリとイソギンチャク 4年 広告と説明書を読みくらべよう 4年 暮らしの中の和と洋 4年 「ゆめのロボット」を作る
国語B	2ーイ	[イ]に入る言葉として適切な内容を書き抜く	目的に応じ、中心となる語や文を捉える	—	目的に応じ、文章と図とを関係付けながら読み、中心となる語や文を基にして文章の要旨を捉えたり、自分の考えをまとめたりする指導が大切である。説明的な文章においては、中心となる語が繰り返し使われることがある。中心となる語に着目したうえで、その語を含む文全体の意味を的確に理解する必要がある。			3年 言葉で遊ぼう 3年 里山は、未来の風景 3年 すがたをかえる大豆 3年 ありの行列 4年 大きな力を出す 4年 アップとルーズで伝える 4年 ウナギのなぞを追って	3年 自然のかくし絵 3年 「ほけんだより」を読みくらべよう 3年 もうどう犬の訓練 3年 人をつつむ形—— 世界の家めぐり 4年 ヤドカリとイソギンチャク 4年 広告と説明書を読みくらべよう 4年 暮らしの中の和と洋 4年 「ゆめのロボット」を作る

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (光村図書)	関連する教科書単元 (東京書籍)
国語B	2二	【文章】の要旨をまとめて書く	目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える	4	条件の要素を2つとも含んで書けているが、指定された文字数を満たしていない児童には、情報の過不足なく文を書く習慣を付けさせる指導が求められる。	平成26年度11月 小4大問1 平成26年度2月 小5大問2 平成26年度1月 小6大問2		5年 新聞を読もう 5年 見立てる 5年 天気を予想する 5年 百年後のふるさとを守る 5年 想像力のスイッチを入れよう 5年 次の一歩——活動報告書 5年 明日をつくるわたしたち 5年 グラフや表を用いて書こう 6年 笑うから楽しい 6年 『鳥獣戯画』を読む 6年 自然に学ぶ暮らし 6年 ようこそ、私たちの町へ 6年 この絵、私はこう見る 6年 忘れられない言葉	5年 伝えよう、委員会活動 5年 不思議な世界へ出かけよう 5年 五・七・五で表そう 5年 資料を生かして考えたことを書こう 5年 動物の体と気候 5年 新聞記事を読み比べよう 5年 和の文化を受けつぐ——和菓子やさぐる 5年 テレビとの付き合い方 6年 ずい筆を書こう 6年 六年間をふり返って書こう 6年 物語を作ろう 6年 資料を生かして呼びかけよう 6年 イースター島にはなぜ森林がないのか 6年 新聞の投書を読み比べよう 6年 町の幸福論——コミュニティデザインを考える 6年 プロフェッショナルたち
				5	条件の要素のうち一方は書けているが、一方には触れられていない児童には、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方などに着目できるように指導することが大切である。				
				6					
国語B	2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く	2	条件の要素を2つとも含んで書けているが、指定された文字数を満たしていない児童には、情報の過不足なく文を書く習慣を付けさせる指導が求められる。		3年 書くこと「しりょうから分かったことをまとめよう」	5年 新聞を読もう 5年 見立てる 5年 天気を予想する 5年 百年後のふるさとを守る 5年 想像力のスイッチを入れよう 5年 グラフや表を用いて書こう 6年 笑うから楽しい 6年 『鳥獣戯画』を読む 6年 自然に学ぶ暮らし 6年 ようこそ、私たちの町へ 6年 未来がよりよくなるために	5年 資料を生かして考えたことを書こう 5年 動物の体と気候 5年 新聞記事を読み比べよう 5年 和の文化を受けつぐ——和菓子やさぐる 5年 テレビとの付き合い方 6年 資料を生かして呼びかけよう 6年 イースター島にはなぜ森林がないのか 6年 新聞の投書を読み比べよう 6年 町の幸福論——コミュニティデザインを考える 6年 プロフェッショナルたち
				3	問題文の条件である、「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という言葉を使うこと、「決めるときに大切なこと」に触れて解答することのうち、一方のみに触れている児童には、図やグラフなどが添えられた文章を提示し、それらと関係付けて読んだり、自分の考えを書いたりする指導を意図的に行うことが必要である。その際、与えられた条件に抜け漏れなく記述することが重要である。				
				4					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (光村図書)	関連する教科書単元 (東京書籍)
国語B	3ー	〈絵3〉の場面が始まるまともりとして適切なものを選択する	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える	1	場面の移り変わりを捉えるためには、登場人物の行動や会話、情景などを基にすることが重要である。そのためには、各場面の様子を的確に捉えるとともに、場面と場面とを関係付けて読む指導が必要である。	平成 26 年度 10 月 小4 大問1 平成 26 年度 10 月 小5 大問2		3年 きつつきの商売	3年 すいせんのラッパ
				2				3年 こまを楽しむ	3年 ゆうすげ村の小さな旅館
				4				3年 たのきゆう	3年 サークスのライオン
				5				3年 もうすぐ雨に	3年 はりねずみと金貨
								3年 モチモチの木	3年 モチモチの木
								3年 ちいちゃんのかげおくり	3年 自然のかくし絵
								3年 三年とうげ	3年 「ほけんだより」を読みくらべよう
								3年 モチモチの木	3年 人をつつむ形——世界の家めぐり
								4年 白いぼうし	4年 こわれた千の楽器
								4年 動いて、考えて、また動く	4年 走れ
								4年 ふるやのもり	4年 ごんぎつね
								4年 一つの花	4年 世界—美しいぼくの村
								4年 ごんぎつね	4年 木竜うるし
								4年 プラタナスの木	4年 ヤドカリとイソギンチャク
								4年 のはらうた	4年 広告と説明書を読みくらべよう
								4年 ウナギのなぞを追って	4年 「ゆめのロボット」を作る
								4年 初雪のふる日	

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (国語:光村図書) (算数:東京書籍)	関連する教科書単元 (国語:東京書籍) (算数:教育出版)
国語B	3二	声に出して読むときの工夫とその理由を書く	登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する	2	条件の要素を2つとも含んで書けているが、指定された文字数を満たしていない児童には、情報の過不足なく文を書く習慣を付けさせる指導が求められる。	平成 26 年度 10 月 小4 大問1 平成 26 年度 10 月 小5 大問2		3年 どきん 3年 きつつきの商売 3年 もうすぐ雨に 3年 わたしと小鳥とすずと 3年 山のてっぺん 3年 ちいちゃんのかげおくり 3年 すがたをかえる大豆 3年 雪 3年 モチモチの木 4年 春のうた 4年 白いぼうし 4年 忘れもの 4年 ぼくは川 4年 ごんぎつね 4年 プラタナスの木 4年 のはらうた 4年 初雪のふる日 5年 新聞を読もう 5年 見立てる 5年 天気を予想する 5年 百年後のふるさとを守る 5年 想像力のスイッチを入れよう 6年 笑うから楽しい 6年 『鳥獣戯画』を読む 6年 自然に学ぶ暮らし	3年 すいせんのラッパ 3年 紙ひこうき 3年 夕日がせなかをおし てくる 3年 サークスのライオン 3年 モチモチの木 4年 こわれた千の楽器 4年 ふしぎよかったなあ 4年 ごんぎつね 4年 木竜うるし 5年 伝えよう、委員会活動 5年 不思議な世界へ出 かけよう 5年 五・七・五で表そう 5年 資料を生かして考え たことを書こう 6年 ずい筆を書こう 6年 六年間をふり返って 書こう 6年 物語を作ろう 6年 資料を生かして呼び かけよう
				3	「声に出して読むときに工夫すること」「想像したとのさまの気持ちを取り上げること」という2つの条件のうち、一方にのみ触れて書いている児童には、物語を音読する際は、場面の移り変わりや登場人物の行動や気持ちの変化を捉える指導が重要である。また、声の出し方を工夫する観点を示し、その観点に基づいて、実際に音読する活動を通して、子どもたち自身が自分の声の出し方を振り返るようにすることは有効である。				
				4					
算数A	1(1)	8.9-0.78の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる	1	小数点の処理や筆算の誤りにより計算の結果が大きく誤っていても、そのことに気付かず、結果を修正していない実態が見られる。指導に当たっては、目的に応じて計算の結果の見積りをする場を適宜位置付け、計算の仕方や結果について振り返って判断できるようにすることが大切である。			4年 ⑦ががい数の表し方	4年 ④ががい数 4年 ⑦ががい数を使った計算
				2					
				3					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数A	1(2)	5. 21+0. 7は 0. 01が何個集ま った数かを表すた めの式として、ふさ わしい数値の組み 合わせを書く	単位となる小数の幾 つ分で、小数の大き さを表すことができ る	2	5. 21と0. 7の大きさについては理解で きているが、0. 1を単位として計算してい る。単位が何であるか慎重に取り組む必 要がある。			4年 ⑦がい数の表し方 4年 ⑩小数のしくみ 4年 ⑫小数のかけ算とわり 算	4年 ④がい数 4年 ⑦がい数を使った 計算 4年 ⑪小数のしくみとた し算、ひき算 4年 ⑮小数と整数のか け算、わり算
				3	単位となる0. 01と同じ小数第2位の5. 21については正しく処理ができてい るが、小数第1位の0. 7の処理を誤ってい る。小数の加法、減法の計算は、小数の 仕組みの理解の上に行うように				
				4	し、整数と同じ原理、手順でできることを 理解することが大切である。				
				5	0. 7は正しく処理できているが、5. 21 の処理を誤っている。小数の加法、減法 の計算は、小数の仕組みの理解の上 に行うようにし、整数と同じ原理、手 順でできることを理解することが大切であ る。				
				6	与えられた2数を何も処理せず書いてい る。小数の加法、減法の計算は、小数の 仕組みの理解の上に行うように し、整数と同じ原理、手順でできることを 理解することが大切である。				
算数A	1(3)	小数の加法の結果 を、減法を用いて 確かめるとき、当て はまる数値の組み 合わせを書く	加法における計算 の確かめの方法を 理解している	3	加法と減法、乗法と除法の相互関係を理 解したり、成り立つ性質を理解したりする ことは、計算の仕方を考えたり計算の確 かめをしたりする上で重要である。形式 的な確かめの処理だけでなく、確かめの 処理を加法と減法、乗法と除法の相互関 係から振り返る活動を位置付け、確かめ の処理の理解を深めることも大切であ る。	平成 26 年度 10 月 小4 大問3(3)		2年 ②たし算のひっ算 2年 ③ひき算のひっ算 2年 ⑧計算のくふう 2年 ⑨たし算とひき算のひ っ算 2年 ⑮たし算とひき算 3年 ⑤たし算とひき算の筆 算 3年 ⑥暗算 4年 ⑩小数のしくみ	2年 ③たし算 2年 ④ひき算 2年 ⑦たし算とひき算 3年 ②たし算とひき算 4年 ⑪小数のしくみとた し算、ひき算
				4					
				5					
				6					
算数A	2(1)	28+72を計算す る	繰り上がりのある2 位数の加法の計算 をすることができる	2	繰り上がりの処理において誤っている児 童には、生活や今後の学習で必要とな り、より複雑な計算を行うための基となる 計算の技能を、確実に定着できるように 指導することが大切である。			2年 ②たし算のひっ算 2年 ⑧計算のくふう 2年 ⑨たし算とひき算のひ っ算 2年 ⑮たし算とひき算	2年 ③たし算 2年 ④ひき算 2年 ⑦たし算とひき算
				3					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数A	2(2)	6. $79-0.8$ を計算する	末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができる	2	位を正しくそろえて計算しているが、小数点の位置を誤っている児童には、数量のおよその大きさを捉え、計算の結果の見積りや確かめの習慣を身に付けることは大切である。			4年 ⑩小数のしくみ	4年 ⑪小数のしくみとたし算、ひき算
				3					
				4	位を正しくそろえずに計算している児童には、小数の仕組みの理解の上で、小数点の位置をそろえて位ごとに計算する技能を確実に身に付けることが大切である。数を相対的に捉え、整数の計算に置き換える活動を重視することで、同じ位どうしを計算することの理解を確実にすることが考えられる。				
				5					
				6	小数点に注意し、位を正しくそろえて計算をしようとしているが、引き算の処理を誤っている児童には、生活や今後の学習で必要となり、より複雑な計算を行うための基となる計算の技能を、確実に定着できるように指導することが大切である。				
7	誤って足し算をしている児童には、注意深く問題に取り組むこと、取り組んだあとに見直しをするような指導が大切である。								
算数A	2(3)	$5/9-1/4$ を計算する	異分母の分数の減法の計算をすることができる	2	通分をして、分母が36になることは理解しているが、分子の処理を誤っている児童には、通分の意味の理解の上で、確実に計算できるようにすることが大切である。単位をそろえて計算することが加法や減法の計算の基本となる考え方であることを、整数の減法や小数の減法と関連付けて理解できるようにすることも考えられる。	平成 26 年度 2月 小5 大問1(1)(2)		5年 ⑧分数と小数、整数の関係 5年 ⑨分数のたし算とひき算	5年 ⑦分数の大きさとたし算、ひき算
				3					
				4					
				5	分母どうし、分子どうしをそのまま引き算している児童には、なぜ分母をそろえるのかについて、その意味を確認することが大切である。2つの分母の最小公倍数を用いると、同分母の分数の減法と同じように処理していることを理解できるようにすることが考えられる。				

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数A	2(4)	5/6÷7を計算する	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる	2	除数である整数を逆数にせず、そのまま掛けている児童には、これまでの整数の除法と同じ考え方で説明できることを確実に理解できるようにすることが大切である。計算の仕方、整数や小数の計算などを活用して、工夫して考え出せるようにするような指導が大切である。			5年 ⑧分数と小数、整数の関係 5年 ⑮分数のかけ算とわり算	5年 ⑩わり算と分数 5年 ⑮分数と整数のかけ算、わり算
				3	被除数を逆数にして計算をしている児童には、これまでの整数の除法と同じ考え方で説明できることを確実に理解できるようにすることが大切である。計算の仕方、整数や小数の計算などを活用して、工夫して考え出せるようにするような指導が大切である。				
算数A	3	午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める	日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる	2	「分」の計算は正しくできているが、「時」の計算を誤っている児童には、時間の単位「時」が1増えたり減ったりする場面を基に、1時間が60分間という関係を、丁寧に指導することが大切である。	平成26年度10月 小5 大問1(2)	3年 量と計算(時刻や時間の計算)「どれだけかかるか考えよう」 2年 量と計算(時間の単位)「どのバスにのればいいのかな」 2年 量と計算(時間の単位)「ヒーローがやってきた」	3年 ②時こくと時間のもとのめ方	3年 ③時刻と時間
				3	2つの所要時間のうち一方しか考慮せずに解答している児童には、問題文をしっかりと読み、与えられた条件が何か、求めるものは何かを把握することが求められる。				
				4	「3時10分」を「310」として計算している児童には、時間の単位「時」が1増えたり減ったりする場面を基に、1時間が60分間という関係を、丁寧に指導することが大切である。				
				5					
				6	所要時間を到着時刻に足している児童には、問題文をしっかりと読むことや、出発時刻と所要時間、到着時刻の関係を正しく捉える必要がある。				
				7					
算数A	4(1)	90°、180°、270°、360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ	180°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることができる	1	直角を基にして、90°より大きいかどうかを判断するなど、角の大きさの見当を付けることで、角の大きさについての感覚を豊かにすることが大切である。1直角(90°)、2直角(180°)、3直角(270°)、4直角(360°)を基準に、見当を付けることができるようにすることが大切である。		4年 量と計算(角の大きさの単位)「角の大きさを考えよう」 4年 量と計算(角の大きさの単位)「はりの回る角度を考えよう」	4年 ②角の大きさ	4年 ⑩角
				2					
				4					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数A	4(2)	分度器の目盛りを読み、 180° より大きい角の大きさを求める	180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° より大きい角の大きさを求めることができる	2	求める角度の補角である「 150° 」と解答した児童には、 180° を超える角度の測定に慣れると同時に、補角を用いた測定方法を判断する活動を取り入れることも考えられる。	平成26年度2月 小4 大問1(2)	4年 量と計算(角の大きさの単位)「角の大きさを考えよう」 4年 量と計算(角の大きさの単位)「はりの回る角度を考えよう」	4年 ②角の大きさ	4年 ⑩角
				3	分度器の目盛りである「 30° 」と解答した児童には、どの部分の角の大きさを求めればいいのかを図から正確に読み取ることが求められる。				
				4	求める角の大きさが2直角より大きいことには気付いているが、正しく求められていない児童には、2直角を超える部分の分度器での測定方法について定着を図ることが大切である。				
				5	分度器を用いた角の大きさの測定や作図の技能の定着を図ることが大切である。				
				6	180° より大きな角を求めるためには、補角を用いた測定方法を判断する活動を取り入れることも考えられる。				
				7	このように、半円型の分度器であっても、確実に角の大きさを測定できるようにすることが大切である。				
				8					
算数A	5(1)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ	示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することができる	2	二等辺三角形と円の性質を関連付けて捉えることのできていない児童には、単に二等辺三角形ができていることを確認させるだけでなく、なぜ二等辺三角形ができるのかについて考えることで、半径の長さが等しい円の性質に基づいていることを理解させることが大切である。			3年 ⑬円と球 3年 ⑰三角形と角	3年 ⑨円と球 3年 ⑬三角形
				3					
				4					
算数A	5(2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める	円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることができる	2	頂角を除いた2つの底角の大きさまでは求められているが、それを半分にせずに解答している児童には、何を求めようとしているか、どこまで計算ができて意識することが重要となる。			3年 ⑬円と球 3年 ⑰三角形と角 5年 ⑪図形の角	3年 ⑨円と球 3年 ⑬三角形 5年 ⑪三角形や四角形の角
				3	二等辺三角形の底角の大きさが等しいことは理解しているが、頂角の位置を誤っている児童には、二等辺三角形が半径の長さが等しい円の性質に基づいていることを理解させることが大切である。				
				4					
				5	図形の形から直感的に正三角形であると判断した児童には、問題文で与えられた条件や設定を正確に読み取り、何を求めればいいのかを考えさせることが大切である。				

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)	
算数A	6(1)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く	示された見取図の情報を基に、展開図に必要な面の大きさを読み取ることができる	2	展開図に必要な面の大きさを、隣り合う面を解答している児童には、展開図を組み立ててできる直方体において、隣り合う面なのか、向かい合う面なのかの位置関係について、展開図と実物を対応させて理解を深めることが重要である。			2年 ⑩長方形と正方形 2年 ⑰はこの形 4年 ⑭直方体と立方体 5年 ⑥合同な図形	2年 ⑤長さ(1) 2年 ⑨三角形と四角形 2年 ⑭はこの形 4年 ⑯立体 5年 ④合同な図形	
				3						見取図や展開図を表す活動とともに、見取図や展開図を読む活動を位置付けることが大切である。例えば、立体図形についての理解を深めるために、展開図に示された情報を読み、それに基づいて見取図に表現する活動などが考えられる。
				4						見取図や展開図を表す活動とともに、見取図や展開図を読む活動を位置付けることが大切である。例えば、立体図形についての理解を深めるために、展開図に示された情報を読み、それに基づいて見取図に表現する活動などが考えられる。
算数A	6(2)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ	見取図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解している	1	見取図や展開図を表す活動とともに、見取図や展開図を読む活動を位置付けることが大切である。例えば、立体図形についての理解を深めるために、展開図に示された情報を読み、それに基づいて見取図に表現する活動などが考えられる。			2年 ⑩長方形と正方形 2年 ⑰はこの形 4年 ⑭直方体と立方体	2年 ⑤長さ(1) 2年 ⑨三角形と四角形 2年 ⑭はこの形 4年 ⑯立体	
				2						見取図や展開図を表す活動とともに、見取図や展開図を読む活動を位置付けることが大切である。例えば、立体図形についての理解を深めるために、展開図に示された情報を読み、それに基づいて見取図に表現する活動などが考えられる。
				4						見取図や展開図を表す活動とともに、見取図や展開図を読む活動を位置付けることが大切である。例えば、立体図形についての理解を深めるために、展開図に示された情報を読み、それに基づいて見取図に表現する活動などが考えられる。
算数A	7	ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ	グラフに表されている事柄を読み取ることができる	1	小学校では、資料を整理するための表現の仕方として、表や棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフや円グラフ、柱状グラフなどを学習する。その際、それぞれの特徴を理解し、表やグラフから示されている内容を的確に読み取ることができるようにすることが大切である。また、伝えたい事柄や目的に応じて、表やグラフの形式を適切に選択したり、表現したりできるようにすることも、表やグラフのよさを理解し、積極的に活用する態度を育成する上で大切である。			3年 ⑩ぼうグラフと表 5年 ⑬百分率とグラフ	3年 ⑥表と棒グラフ 5年 ⑭帯グラフと円グラフ	
				3						小学校では、資料を整理するための表現の仕方として、表や棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフや円グラフ、柱状グラフなどを学習する。その際、それぞれの特徴を理解し、表やグラフから示されている内容を的確に読み取ることができるようにすることが大切である。また、伝えたい事柄や目的に応じて、表やグラフの形式を適切に選択したり、表現したりできるようにすることも、表やグラフのよさを理解し、積極的に活用する態度を育成する上で大切である。
				4						小学校では、資料を整理するための表現の仕方として、表や棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフや円グラフ、柱状グラフなどを学習する。その際、それぞれの特徴を理解し、表やグラフから示されている内容を的確に読み取ることができるようにすることが大切である。また、伝えたい事柄や目的に応じて、表やグラフの形式を適切に選択したり、表現したりできるようにすることも、表やグラフのよさを理解し、積極的に活用する態度を育成する上で大切である。
算数A	8	○を並べた図を基に式を読み、数に対応する○を黒く塗る	式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することができる	2	数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりして、式のよさが分かるようにするとともに、式を適切に用いることができるようにすることが大切である。特に、四則の混合した式や()を用いた式について学習する際は、一つの数量を表すのに()を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表したりすることを確実に理解できるようにすることが大切である。			3年 ①かけ算 3年 ⑮□を使った式 4年 ⑧計算のきまり	3年 ●かけ算とわり算の図 3年 ⑯□を使った式と図 4年 ⑥式と計算	
				3						数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりして、式のよさが分かるようにするとともに、式を適切に用いることができるようにすることが大切である。特に、四則の混合した式や()を用いた式について学習する際は、一つの数量を表すのに()を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表したりすることを確実に理解できるようにすることが大切である。
				4						数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりして、式のよさが分かるようにするとともに、式を適切に用いることができるようにすることが大切である。特に、四則の混合した式や()を用いた式について学習する際は、一つの数量を表すのに()を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表したりすることを確実に理解できるようにすることが大切である。
				5						数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりして、式のよさが分かるようにするとともに、式を適切に用いることができるようにすることが大切である。特に、四則の混合した式や()を用いた式について学習する際は、一つの数量を表すのに()を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表したりすることを確実に理解できるようにすることが大切である。
				6						数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりして、式のよさが分かるようにするとともに、式を適切に用いることができるようにすることが大切である。特に、四則の混合した式や()を用いた式について学習する際は、一つの数量を表すのに()を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表したりすることを確実に理解できるようにすることが大切である。

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数B	1(1)	平行四辺形を構成することができる、四つの辺の組み合わせを選ぶ	平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解している	1 2 3	平行四辺形の「向かい合った2組の辺の長さがそれぞれ等しい」という特徴を利用し、与えられた選択肢から該当する辺の組み合わせがどれなのかを注意深く選ぶことが大切である。			4年 ④垂直・平行と四角形	4年 ⑫垂直、平行と四角形
算数B	1(2)	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解している	2 3	正解とは異なる平行四辺形の性質を選択している児童には、図形の約束や性質を理解するために、辺の長さや角の大きさなど、図形の構成要素やその関係に着目して図形を構成したり観察したりする活動を取り入れることが大切である。また、作図の指導に当たっては、作図の手順を形式的に指導するのではなく、図形の特徴と対応させて理解できるようにすることが大切である。			4年 ④垂直・平行と四角形	4年 ⑫垂直、平行と四角形
算数B	1(3)	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く	示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述できる	2 3 4 5 6 7 8	地図から平行四辺形は見出しており、図形の特徴も書いているが、不要な特徴まで書いている児童には、問題で求められているものが何かを意識して過不足なく解答を記述する練習が大切である。 地図から平行四辺形は見出しているが、問われていることとは別の特徴を書いている児童には、問題で求められているものが何かを意識して、必要なことを抜け漏れなく記述する練習が大切である。 地図から平行四辺形は見出しているが、図形の特徴を正しく記述できていない児童には、身の回りのものや地図などから図形を見いだしたり、見いだした図形のどのような約束や性質を用いれば、日常生活の事象を解決できるか見通しを立てたりする活動が考えられる。 図形の特徴は書いているが、それがどのような図形のものかが書けていない児童には、問題で問われていることが何かを意識して、必要なことを抜け漏れなく記述する練習が大切である。 解答する上で必要となる図形以外の図形を書いている児童には、身の回りのものや地図などから図形を見いだしたり、見いだした図形のどのような約束や性質を用いれば、日常生活の事象を解決できるか見通しを立てたりする活動が考えられる。			4年 ④垂直・平行と四角形	4年 ⑫垂直、平行と四角形

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数B	2(1)	トマトを7個買うとき、最も安くなる買い方を選び、そのときの代金を書く	単位量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買物の仕方を選択し、代金を求めることができる	2	4つの選択肢の中から正しい選択肢を選択できているが、代金の計算を誤った児童には、各パックの値段と買う数から正確に計算することが求められる。	平成 26 年 11 月 小5大 問1(1)		4年 ⑧計算のきまり 5年 ⑩単位量あたりの大きさ	4年 ⑥式と計算 5年 ⑨単位量あたりの大きさ
				3	正解とは異なる選択肢(2または4)を選択した児童には、示された4通りの買い方のすべての代金を丁寧に計算して比較することはもとより、単位量当たりの大きさから、より合理的で能率的な求め方を考える活動を取り入れることが考えられる。				
				4	正解とは異なる選択肢(1)を選択した児童は、提示された4通りの買い方について、それぞれの代金がいくらになるかをまずは調べようとする姿勢が大切である。				

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数B	2(2)	20%増量した商品の 内容量が480m Lであるとき、増量 前の内容量を求め る式と答えを書く	示された情報から基 準量を求める場面と 捉え、比較量と割合 から基準量を求める ことができる	2	「400」と解答しているが、正しく式が書 けていない児童には、基準量、比較量、 割合を意識させ、式として表せるよう練習 が大切である。		5年 数量関係(百分 率)「図を使って割合の 問題を考えよう」 5年 数量関係(百分 率)「どの割引券を使う と得か考えよう」	5年 ⑬百分率とグラフ	5年 ⑬割合
				3	正しく式は書けているが、「400」を求め られていない児童には、計算の技能を確 実に定着できるように指導することが大 切である。				
				4	増量前の1%や10%に当たる量を求め る式を書いている児童には、今求めたも のが何で、最終的には何を求めなければ ならないか意識して問題に取り組むこ とが大切である。				
				5	増量後の1.2倍や12倍等に当たる量を 求める式を書いている児童には、示され た情報から基準量、比較量、割合を正し く読み取り理解させることが大切である。				
				6	増量後の量の80%を求めようとした児 童には、示された情報から基準量と比較 量を特定するために、問題の状況を丁寧 に読み解き、その関係を図や数直線など に表して捉えるようにする活動が大切で ある。				
				7	増量後の量に対して20%を乗除した児 童には、示された情報から基準量と比較 量を特定するために、問題の状況を丁寧 に読み解き、その関係を図や数直線など に表して捉えるようにする活動が大切で ある。				
算数B	2(3)	示された割り引き 後の値段の求め方 の中から誤りを見 だし、正しい求め 方と答えを書く	示された割り引き後 の値段の求め方 の中から誤りを指摘 し、正しい求め方と 答えを記述できる	3	問題に示された「480」から割合を引いて いる児童には、基準量、比較量、割合の 関係を数直線で表す等、数量の関係を 表現する活動を取り入れることが考えら れる。		5年 数量関係(百分 率)「図を使って割合の 問題を考えよう」 5年 数量関係(百分 率)「どの割引券を使う と得か考えよう」	5年 ⑬百分率とグラフ	5年 ⑬割合
				4					
				5					
				6					
				7					
8	正しい数は誤っているが、その数を用い て正しく30%分あるいは70%分を求め ている児童には、問題で求められている 基準量が何かを意識させる指導が求め られる。								

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数B	3(1)	周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれこの目盛りのところを持ってばよいかを書く	正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることができる	3	図形がもつ特徴や性質を想起し、その中から問題の解決に必要な特徴や性質を選択して、活用する機会を設定することが大切である。構成する図形が正三角形であることから、正三角形には、「三つの辺の長さが等しい」、「三つの角の大きさがどれも等しく、60°である」という特徴や性質があることを確認したうえで課題に取り組むことが重要と考えられる。			3年 ④わり算 3年 ⑦三角形と角	3年 ④わり算 3年 ⑬三角形
				4					
				5					
				6					
				7					
算数B	3(2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、⑦の角が30°になるわけを書く	正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、⑦の角が30°になる理由を記述できる	3	いずれの正答の条件も満たさず解答している児童には、解答を記述する際に、説明する対象が何かを明示するような指導が求められる。	平成26年度7月 小4 大問2(2)		3年 ⑦三角形と角 5年 ⑥合同な図形 5年 ⑩図形の角	3年 ⑬三角形 5年 ④合同な図形 5年 ⑪三角形や四角形の角
				4					
				5					
				6					
算数B	4(1)	四つの数を四捨五入して、千の位までのおよその数に表し、それらの数の和を求める式と答えを書く	四捨五入して千の位までのおよその数にして計算することができる	2	与えられた4つの数によって異なる位を四捨五入している児童には、形式的な処理に終わることなく、四捨五入することによって実際の数に近い数が見つかることを、図や数直線等を用いて理解できるようにしていくことが大切である。		4年 数と計算「およその数・がい数を使おう」	4年 ⑦がい数の表し方	4年 ④がい数 4年 ⑦がい数を使った計算
				3					
				4					
				5					
				6					
				7					
				7					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数B	4(2)	切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ	切り上げた場合の見積りの結果を基に、目標に達しているかについて判断できる	1	「大きい数にして、(中略)達している」を選択した児童には、何のために見積もるのかについて、その目的を明らかにすることが大切である。その上で、得られた結果と実際の数を比較して分かることを説明することが大切である。		4年 数と計算「およその数・がい数を使おう」	4年 ⑦がい数の表し方	4年 ④がい数 4年 ⑦がい数を使った計算
				3	切り上げた処理に対して、「小さい数にして(略)」と解答している児童には、切り上げるとはどのような処理を行うことかといった言葉の意味や処理手順について理解させることが大切である。				
				4	切り上げた処理に対して、「小さい数にして(略)」と解答している児童には、切り上げるとはどのような処理を行うことかといった言葉の意味や処理手順について理解させることが大切である。				
算数B	4(3)	目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由を記述できる	3	小さく見積もっていることは書けているが、見積もった結果が書けていない児童には、行っている操作の目的を明らかにすると同時に、その内容を正確に抜け漏れなく文章で記述する力の育成が重要である。		4年 数と計算「およその数・がい数を使おう」	4年 ⑦がい数の表し方	4年 ④がい数 4年 ⑦がい数を使った計算
				4	小さく見積もっていることは書けているが、見積もった結果が書けていない児童には、行っている操作の目的を明らかにすると同時に、その内容を正確に抜け漏れなく文章で記述する力の育成が重要である。				
				5	四捨五入や大きく見積もるなど、見積もり方を誤っている児童には、何のために見積もるのかについて、その目的を明らかにすることが大切である。				
				6	どのような操作をしたか(切り下げ)や見積もった結果がどのような数値になっているかなどの記述のない児童には、行っている操作の目的を明らかにすると同時に、その内容を正確に抜け漏れなく文章で記述する力の育成が重要である。				
				7	どのような操作をしたか(切り下げ)や見積もった結果がどのような数値になっているかなどの記述のない児童には、行っている操作の目的を明らかにすると同時に、その内容を正確に抜け漏れなく文章で記述する力の育成が重要である。				
				8	見積もり結果だけを書いている児童には、行っている操作の目的を明らかにすると同時に、その内容を正確に抜け漏れなく文章で記述する力の育成が重要である。				
算数B	5(1)	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述できる	3	「アとイ、ウとエがそれぞれ等しい」ことは書けているが、「オがアとウ、カがイとエを合わせた図形」であることが書けていない児童には、問題で求められていることを説明するために、論理の飛躍なく根拠を持って説明するような活動が重要である。			2年 ⑩長方形と正方形 4年 ④垂直・平行と四角形 4年 ⑨面積のはかり方と表し方 5年 ⑥合同な図形 5年 ⑫四角形と三角形の面積	2年 ⑤長さ(1) 2年 ⑨三角形と四角形 4年 ⑧面積 4年 ⑫垂直、平行と四角形 5年 ④合同な図形 5年 ⑬四角形や三角形の面積
				4	「アとイ、ウとエがそれぞれ等しい」ことが書けていない児童には、問題で求められていることを説明するために、論理の飛躍なく根拠を持って説明するような活動が重要である。				
				5	「アとイ、ウとエがそれぞれ等しい」ことが書けていない児童には、問題で求められていることを説明するために、論理の飛躍なく根拠を持って説明するような活動が重要である。				
				6	「オとカが合同である」と誤っている児童には、合同とはどのような図形であるかを正しく理解させる必要がある。				

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (教育出版)
算数B	5(2)	示された図形の色 がついた部分の面 積を求める	条件を変更した場面 に面積を2等分する 考えを適用して、示 された部分の面積を 求めることができる	2	2つの正方形の面積を求め、半分にしていない児童には、自分の求めようとしているのがどこの面積であるかを理解したうえで取り組む必要がある。			2年 ⑩長方形と正方形 4年 ④垂直・平行と四角形 4年 ⑨面積のはかり方と表 し方 5年 ⑥合同な図形 5年 ⑫四角形と三角形の 面積	2年 ⑤長さ(1) 2年 ⑨三角形と四角形 4年 ⑧面積 4年 ⑫垂直、平行と四角 形 5年 ④合同な図形 5年 ⑯四角形や三角形 の面積
				3	2つの正方形のうち、一方の正方形の半分の面積を求めている児童には、自分の求めようとしているのがどこの面積であるかを理解したうえで取り組む必要がある。				
				4	2つの正方形のうち、一方の正方形の面積を求めている児童には、自分の求めようとしているのがどこの面積であるかを理解したうえで取り組む必要がある。				

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (啓林館)
理科	1(1)	振り子が1往復する時間を変える要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選ぶ	振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、条件を制御しながら構想できる	2	振り子の長さ以外の条件であるおもりの重さをそろえることが理解できていないと考えられる。調べる要因を明らかにし、その要因を調べるために変えなければならない条件は何か、そろえなければならない条件は何かを整理しながら考え、実験を計画することが重要である。			5年 10 ふりこのきまり	5年 7.ふりこのきまり
				3					
				4					
				5					
				6					
理科	1(2)	振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ	振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用できる	1	振り子が1往復する時間が振れ幅によって変わると捉えている児童には、糸につるしたおもりが1往復する時間は、糸の長さによって変わることを理解させる必要がある。また、生活の中で使われている道具などの仕組みに着目して考えるなど、実生活との関連を図る指導が重要である。		5年 エネルギー(振り子の運動)「振り子の重さと1往復の時間」 5年 エネルギー(振り子の運動)「振り子の長さで1往復の時間」 5年 エネルギー(振り子の運動)「振り子のふれはばと1往復の時間」 5年 エネルギー(振り子の運動)「まとめ①(学習チェック問題)」	5年 10 ふりこのきまり	5年 7.ふりこのきまり
				2					
				4					
理科	1(3)	振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだわけを書く	熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述できる	4	温度による長さの変化が最も小さいのが鉄であることは選択できているが、その理由を記述できていない児童には、観察・実験のデータを分析し、根拠や理由を示しながら自分の考えを記述することができるようにすることが大切である。		5年 エネルギー(振り子の運動)「まとめ②(学習チェック問題)」 5年 エネルギー(振り子の運動)「まとめ(応用問題)」	4年 9 物の体積と温度 5年 10 ふりこのきまり	4年 7.ものの温度と体積 5年 7.ふりこのきまり
				5					
				6					
				7					
理科	1(4)	電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ	電磁石と磁石の同極が退け合う性質を振り子が左右に等しく振れる仕組みに適用できる	1	磁石の同極は退け合うことは理解しているが、磁石にはS極とN極があることを理解していない児童には、磁石の性質について定着させる指導が必要である。	平成26年度2月 小3 大問2(3)	3年 エネルギー(磁石の性質)「じしゃくのふしぎ」のまとめをしよう	3年 9 じしゃくにつけよう 5年 9 電流がうみ出す力 5年 10 ふりこのきまり	3年 8.じしゃくのふしぎ 5年 7.ふりこのきまり 5年 9.電磁石のはたらき
				3					
				4					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (啓林館)
理科	1(5)ア	電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ	電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善できる	1	想定した動きにするために、電磁石の強さを変える要因に着目して2つの電磁石の強さをそろえることができていると考えられる。導線の巻数や導線の長さを見直し、実際に改善しながらものづくりをすることが重要である。		4年 エネルギー(電気の働き)「電気の働き②～かん電池のつなぎ方～」 5年 エネルギー(電気の働き)「電磁石のはたらき①」 5年 エネルギー(電気の働き)「電磁石を利用したおもちゃを作ろう」	4年 4 電気のはたらき 5年 9 電流がうみ出す力	4年 3.電気のはたらき 5年 9.電磁石のはたらき
				2					
				4					
理科	1(5)イ	電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ	電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善できる	1	想定した動きにするために、電磁石の強さを変える要因に着目して2つの電磁石の強さをそろえることができていると考えられる。乾電池のつなぎ方や乾電池の向きを見直し、実際に改善しながらものづくりをすることが重要である。	平成 26 年度 2 月 小 4 大問 2(1)	4年 エネルギー(電気の働き)「電気の働き②～かん電池のつなぎ方～」 5年 エネルギー(電気の働き)「電磁石のはたらき①」 5年 エネルギー(電気の働き)「電磁石を利用したおもちゃを作ろう」	4年 4 電気のはたらき 5年 9 電流がうみ出す力	4年 3.電気のはたらき 5年 9.電磁石のはたらき
				3					
				4					
理科	2(1)	メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	メダカの雌雄を見分ける方法を理解している	2	魚には雌雄があることや、形態を観察することで雌雄を見分けることについて理解できていないと考えられる。メダカの雌雄を見分けるには、せびれとしりびれの両方を観察するなど、複数の観点で判断できるようにすることが適切である。	平成 26 年度 2 月 小 5 大問 3(1)		5年 3 魚のたんじょう	5年 2.メダカのたんじょう
				3					
				4					
				5					
				6					
理科	2(2)よし子	生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶ	生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察して分析できる	1	養分のとり方は、メダカや人、インゲンマメなど成長の過程で差異点や共通点などがあることを理解できていないと考えられる。生物として個別に考察するのではなく、それぞれ分析して差異点や共通点を捉えさせるような指導が求められる。観察記録を一覧できるように並べたり、表に整理したりして、差異点や共通点に着目しながら気付いたことを話し合い、考察できるようにすることが重要である。		5年 生命(植物の発芽、成長、結実)「植物の成長①」	5年 2 植物の発芽と成長 5年 3 魚のたんじょう 5年 8 人のたんじょう	5年 1.植物の発芽と成長 5年 2.メダカのたんじょう 5年 3.ヒトのたんじょう
				3					
				4					
理科	2(2)ひろし	生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶ	生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察して分析できる	2	養分のとり方は、メダカや人、インゲンマメなど成長の過程で差異点や共通点などがあることを理解できていないと考えられる。生物として個別に考察するのではなく、それぞれ分析して差異点や共通点を捉えさせるような指導が求められる。観察記録を一覧できるように並べたり、表に整理したりして、差異点や共通点に着目しながら気付いたことを話し合い、考察できるようにすることが重要である。		5年 生命(植物の発芽、成長、結実)「植物の成長①」	5年 2 植物の発芽と成長 5年 3 魚のたんじょう 5年 8 人のたんじょう	5年 1.植物の発芽と成長 5年 2.メダカのたんじょう 5年 3.ヒトのたんじょう
				3					
				4					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (啓林館)
理科	2(3)	示された器具(顕微鏡)の名称を書く	顕微鏡の名称を理解している	2 3	観察器具の名称を正確に理解していないと考えられる。名称の理解に加え、目的に応じた適切な操作方法を実際に身に付けさせていくことが必要である。	平成 26 年度 2 月 小5 大問3(2)		5年 3 魚のたんじょう	5年 2.メダカのたんじょう
理科	2(4)	顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ	顕微鏡の適切な操作方法を身に付けている	1 3 4	鏡の向きの調節や対物レンズの倍率を変えるなどと解答した児童には、試行錯誤しながら観察、実験を進められるように十分な時間を確保することが重要である。次に、実際の観察器具を用いて具体的な操作方法を示すとともに、教科書等を活用して、適切な操作について理解できるようにすることが大切である。	平成 26 年度 2 月 小5 大問3(2)	5年 実験器具の使い方「けんび鏡」	5年 3 魚のたんじょう	5年 2.メダカのたんじょう
理科	2(5)	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く	植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述できる	4 5 6 7	草丈の変化から、両種に日光がよく当たる種子のまき方の図は正しく選んでいるが、わけを記述できていない児童には、グラフや表から読み取れる事実と、日光の当たり方について解釈した内容を記述できるよう指導することが大切である。 グラフから「どちらの草丈が高いか」を読み取ること、「植物の成長には日光が必要であること」、「太陽の1日の動き方」などこれまでに学習した様々な内容と実際の自然の事物・現象との関係に気付くことができるように、知識や経験を日常生活へ適用する場面を意図的に設定することが重要である。	平成 26 年度 2 月 小5 大問2(3)	5年 生命(植物の発芽、成長、結実)「成長の条件」	3年 5 太陽とかげの動きを調べよう 5年 2 植物の発芽と成長	3年 5.かげのでき方と太陽の光 5年 1.植物の発芽と成長
理科	3(1)	水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ	水蒸気は水が気体になったものであることを理解している	2 3 4	水の三態変化や、気体、液体、固体などの科学的用語を身に付けていないと考えられる。科学的な言葉や概念については名称のみを記憶するのではなく、実際に観察した事実や状況と名称を関連付けて捉えられるように指導することが重要である。		4年 粒子(金属、水、空気と温度)「水のすがた①」 4年 粒子(金属、水、空気と温度)「今までわかったことをまとめてみよう」	4年 10 水のすがたと温度	4年 9.水のすがた
理科	3(2)	水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ	予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	1 2 3	予想と実験結果の見通しが結びついていないと考えられる。熱せられた水の移動の様子を予想させ、その予想が一致した場合に得られる、ピーカー内の温度計の示す温度が高くなる順番について、見通しをたてて実験を計画させることが大切である。	平成 26 年度 2 月 小5 大問4(1)②		4年 13 物のあたたまり方	4年 8.もののあたたまり方
理科	3(3)	水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ	水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善できる	2 3 4	実験結果と水の動きを関連付けて考えられていないと考えられる。与えられた実験結果から、温度計が示す温度がA→B→Cの順で高くなっていることを読み取り、その結果から水の動きを理解したうえで、自分の考えをより妥当なものに改善できるようにすることが大切である。			4年 13 物のあたたまり方	4年 8.もののあたたまり方

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (啓林館)
理科	3(4)	示された器具(メスシリンダー)の名称を書く	メスシリンダーの名称を理解している	2 3	計量器具の名称を正確に理解できていないと考えられる。名称の理解とともに、目的に応じた適切な扱い方を身に付けさせていくことが必要である。	平成 26 年度 2 月 小 5 大問 1(2)		5 年 7 物のとけ方	5 年 8.もののとけ方
理科	3(5)	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けている	1 2 3	水を多めに入れてスポイトで水を抜くと解答した児童には、スポイトの先が水の中に入って水面を押し上げることになるので、正確な量をはかり取ることができないことを理解させる必要がある。実験器具の使用の目的や用途を明らかにし、具体的な操作方法を示すとともに、全ての児童が実際に操作を行い、操作方法を確実に習得できるようにすることが重要である。 水の盛り上がった部分を読むと解答した児童には、実際量りとうろとすよりも少ない量になることを理解させる必要がある。実験器具の使用の目的や用途を明らかにし、具体的な操作方法を示すとともに、全ての児童が実際に操作を行い、操作方法を確実に習得できるようにすることが重要である。	平成 26 年度 2 月 小 5 大問 1(2)	5 年 実験器具の使い方「ろ過のしかた」	5 年 7 物のとけ方	5 年 8.もののとけ方
理科	3(6)	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く	析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できる	4 5 6 7	析出した砂糖の量は正しく選択できているが、その量を選択した根拠が不十分な児童には、自分が考えた根拠として、グラフから読み取った数値を用いて析出量について分析したことを的確に記述する指導が必要である。 温度が5℃に下がったときのグラフは読み取っているが、誤って20℃と比較している児童には、与えられている条件や状況を問題文から正確に捉える指導が重要である。 温度が5℃のときにとける砂糖の量を解答している児童には、問題で行っている実験の目的が「温度による砂糖の溶ける量のちがいについて考察して分析する」ということを理解させることが重要である。 温度が50℃のときにとける砂糖の量を解答している児童には、問題で行っている実験の目的が「温度による砂糖の溶ける量のちがいについて考察して分析する」ということを理解させることが重要である。	平成 26 年度 2 月 小 5 大問 1(2)	5 年 粒子(物の溶け方)水の量と物が溶ける量 5 年 粒子(物の溶け方)水の温度と物が溶ける量 5 年 粒子(物の溶け方)物が水に溶ける量 5 年 粒子(物の溶け方)溶かしたものを取り出すには	5 年 7 物のとけ方	5 年 8.もののとけ方

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (啓林館)
理科	4(1)	方位についての情報から、観察している方位を選ぶ	方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析できる	1	東西南北の位置関係を理解させることが重要である。例えば、教室にある物や近隣の建物の方位など、日常生活において方位を意識できるようにしたうえで、実際に月や星を観察する機会を設けることが大切である。	平成 26 年度 2 月 小3 大問4(1)		4年 6 月や星の動き 4年 冬の星	4年 4.月や星 4年 冬の夜空
				3					
				4					
理科	4(2)	夕方にみられる月の形と場所を選ぶ	月は1日のうち時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解している	2	同じ日の月の形は変わらないこと、月が移動することは理解しているが、月の移動の仕方を理解していない児童には、太陽と同じように月は東から昇り、南を通過して西に沈むことを実際の観察をとおして理解させる指導が必要である。	平成 26 年度 2 月 小4 大問4(1)(3)	4年 地球(月と星)「今日の夜、北斗七星と北極星をさがそう」 4年 地球(月と星)「今日の夜、さそり座をみつげよう」 4年 地球(月と星)「月の観察①」 4年 地球(月と星)「月の観察②」 4年 地球(補助シート)「自分の観測する場所をきめよ(定点観測)」	4年 6 月や星の動き	4年 4.月や星
				3					
				4					
理科	4(3)	星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ	星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けている	2	月や星、太陽の動きと時間の経過の関係を調べるための、定点観察の技能と記録の仕方が習得できていないと考えられる。観察する際は、観察場所を一定にし、基準となる目印や観察の時間間隔を決めるなどといった定点観察やその記録の方法について観察する前に確認することが重要である。	平成 26 年度 2 月 小4 大問4(2)	4年 地球(補助シート)「月の観察記録をまとめよう その1」 4年 地球(補助シート)「月の観察記録をまとめよう その2」 4年 地球(補助シート)「9月の月をさがして記録しよう」	4年 6 月や星の動き 4年 冬の星	4年 4.月や星 4年 冬の夜空
				3					
				4					
				5					
				6					
理科	4(4)	観察した星座や雲の動きを選ぶ	星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析できる	1	星座と雲の位置関係の変化から星座の動きを捉えている児童には、星座と雲の動きについて基準となる目印と照らし合わせて考察して分析するような指導が必要である。	平成 26 年度 2 月 小4 大問4(3)		4年 6 月や星の動き 4年 冬の星	4年 4.月や星 4年 冬の夜空
				2					
				3					

教科	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	誤答 類型	学力向上に向けて	関連するスタディ・ チェック	関連するワークシート	関連する教科書単元 (東京書籍)	関連する教科書単元 (啓林館)
理科	4(5)	水が水蒸気になる現象について、その名称を書く	水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解している	2	科学的な言葉や概念を理解できていないと考えられる。現象と状態との違いを捉えられるようにして言葉や概念を理解させる指導が必要である。		4年 粒子(金属、水、空気と温度)「水のすがた①」	4年 11 自然のなかの水のすがた	4年 10.水のゆくえ
				3					
理科	4(6)	地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ	打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析できる	1	水をまいたときの地面の様子と気温とを関係付けながら考察できていないと考えられる。地面の気温だけでなく、地面の様子も記録し、双方を関連付けながら考察して分析したことを言葉でまとめる学習活動が大切である。			4年 11 自然のなかの水のすがた	4年 10.水のゆくえ
				2					
				4					